

中国现代名家名作文库

潘漠华



若迦夜歌

(外一种)



朝花出版社



## 前 言

应修人（1900—1933）原名麟德，中国现代著名诗人，出生于浙江慈溪。1920年出任中国棉业银行出纳股主任，次年创办上海通信图书馆。1922年与潘漠华等人共同成立了湖畔诗社，开始其诗歌创作。1925年应修人人主办《支那二月》文艺杂志，同年加入中国共产党。1926年辗转到达广东，在黄埔军校担任会计职务，曾邀得鲁迅到校讲演《革命时代的文学》。大革命失败后应修人来到莫斯科，先后在中山大学和东方劳动者大学学习。其间笔耕不辍，创作了数目可观的诗歌作品。1930年回国后在上海中共军委工作，同年加入左联。1933年应修人出任中共江苏省委宣传部长不久，在同国民党特务的搏斗中坠楼牺牲，年仅33岁。

应修人的诗作多收在与冯雪峰、潘漠华、汪静之合著的两部诗集《湖畔》与《春的歌集》之中，诗人擅长于对诗歌结构的调配和转换，并由此显现其真挚的情感，于质朴中表现出清新自然的风格。诗人常常通过对青春与爱情的歌唱，表现刹那间的感受，时而流露出淡淡的哀愁，时而带着一点激愤之音，借此表现五四青年的觉醒意识，标示出反对封建礼教的时代精神。应修人注重对自然的描绘，歌唱自然，为得是从自然中获得自由与解放。诗作大多直抒胸襟，同时运用白描、联想、梦境等手法抒情写意，风格纯朴明朗。



## 前 言

潘漠华（1902—1934）原名训，又名恺尧，浙江宣平（今武义）人，中国现代诗坛的优秀代表。早在1922年潘漠华就读于杭州浙江第一师范学校时，便参与创立湖畔诗社，并同应修人等合出诗集《湖畔》，次年又一同出版了合集《春的歌集》。1924年潘漠华考入北京大学，继续从事诗歌及小说创作。1927年参加中国共产党，同年赴武汉参加北伐革命军，负责宣传工作，后回乡组织农民暴动。1929年后潘漠华执教于厦门、开封、北平等地，1933年任中共天津市委宣传部长时被捕，次年在狱中绝食牺牲，年仅32岁。

潘漠华的诗歌代表作也多收录在合集《湖畔》及《春的歌集》中，特别是《春的歌集》，不仅辑入潘漠华的情诗以及组诗“若迦《夜歌》”，还收录了冯雪峰怀念潘漠华的散文。潘漠华的诗作多由爱情与自然入题，结构精巧，感情真挚，讲求自然的音韵和旋律，无拘无束地表达诗人的自我感受，形式多样，语言清新。

本文库收录了应修人及潘漠华两位革命诗人的诗歌代表作，对于读者更好地感受当时的诗歌特色与社会现实会有很大的助益。



## 目 录

## 应修人作品

## 诗歌

- 或者 ..... (3)
- 我认识了西湖了 ..... (4)
- 第一夜 ..... (5)
- 新柳 ..... (7)
- 在江边小坐 ..... (8)
- 一生 ..... (10)
- 听玄仁瑾女士奏佳耶琴 ..... (11)
- 含苞 ..... (12)
- 徬徨 ..... (13)
- 豆花 ..... (14)
- 歌 ..... (15)
- 悔煞 ..... (16)
- 柳 ..... (17)
- 心爱 ..... (18)
- 小小儿的请求 ..... (19)
- 嗔 ..... (20)
- 暴风去后 ..... (21)
- 江之波涛 ..... (22)



## 目 录

麦陇上 .....	(24)
我不知 .....	(25)
心爱的 .....	(26)
送桔子 .....	(27)
山里人家 .....	(28)
花蕾 (一九二二年) .....	(29)
邻家 .....	(30)
欢愉引 .....	(31)
温静的绿情 .....	(33)
晨课 .....	(34)
北郊里独游 .....	(35)
晚上 .....	(36)
粉墙 .....	(37)
中秋海边夜 .....	(38)
读《工人绥惠略夫》 .....	(39)
野睡 .....	(40)
我要 (一九二三年) .....	(41)
邻家座上 .....	(42)
天未晓曲 .....	(43)
楼梯边 .....	(44)
亲眷家里 .....	(45)
负情 .....	(46)
梅花风里 .....	(47)
到邮局去 .....	(48)
绿梅花儿娇 .....	(49)
探病去的路上 .....	(50)
心慰 .....	(52)
信来了 .....	(53)



小学时的姊妹 .....	(54)
田野的春 .....	(60)
看花去 .....	(61)
初夏的初阳 .....	(62)
一件细事 .....	(63)
梅雨后第一回晓游的路上 要荷、舜、彦们吹箫 .....	(64)
草地之上 .....	(65)
妹妹你是水 .....	(66)
偷寄 .....	(67)
你怕冷么?! .....	(68)
村居 .....	(69)
游鄮 陬 问山儿女 .....	(70)
许多人 .....	(71)
宝贵 .....	(72)
徒弟 .....	(73)
哭哑的小孩 .....	(74)
雨后 .....	(75)
夏夜歌 .....	(76)
怕 .....	(77)
从前 .....	(78)
速写 .....	(79)
归途 .....	(81)
听风的时候 .....	(82)
悔了 .....	(83)
杏花 .....	(85)
回味 .....	(86)
一见 .....	(87)
鸟笼里 .....	(88)



## 目 录

村里 .....	(89)
催朋友 .....	(90)
百叶窗 .....	(91)
村野的 .....	(92)
读《诗经》 .....	(93)
古漪园里 .....	(94)
绿绿了 .....	(95)
灿烂的未来 .....	(96)
晓 .....	(97)
田里的 .....	(98)
别后 .....	(99)
嬉笑 .....	(101)
听得 .....	(102)
拾取 .....	(103)
夏夜 .....	(104)
这幅画 .....	(105)
花瓶里 .....	(106)
到处 .....	(108)
初游草佳村 .....	(109)
山里去 .....	(110)
独游 .....	(111)
十月廿二日游昆山作 .....	(112)
同日下午，看报纸后登楼作 .....	(113)
味爽里偕舜游南郊 .....	(114)
从家里来 .....	(115)
夜云篇 .....	(116)
无题 .....	(118)



## 散文·童话

- 不留名字的爱我者 ..... (119)
- 三月十二夜 ..... (121)
- 上海通信图书馆与读书自由 ..... (125)
- 给元启的信 ..... (128)
- 旗子的故事 ..... (131)
- 金宝塔银宝塔 ..... (138)

## 书简

[1922.4—1923.5]

- 致漠华、雪峰、静之 ..... (148)
- 附：修人致漠华、雪峰、静之书简注释 ..... 汪静之 (178)
- 补注四条 ..... 应 人 (191)

[1922.5—1922.11]

- 致周作人 ..... (193)

[1923.4]

- 致马孝安 ..... (208)

## 潘漠华作品

- 草野 ..... (211)
- 轿夫 ..... (213)
- 孤寂 ..... (214)
- 呵 ..... (216)
- 回栏下 ..... (218)
- 黄昏后 ..... (219)
- 塔下 ..... (220)
- 游子 ..... (222)





## 目 录

稻香 .....	(223)
回望 .....	(224)
撒却 .....	(225)
隐痛 .....	(226)
离家 .....	(227)
归家 .....	(229)
想念 .....	(230)
忘情 .....	(232)
雨后的蚯蚓 .....	(233)
掇拾 .....	(234)
黎明在涌金门外 .....	(235)
念姊姊 .....	(236)
夜 .....	(237)
小诗两首 .....	(238)
怅惘 .....	(239)
月夜 .....	(240)
新坟 .....	(241)
月光 .....	(242)
清明底思念 .....	(244)
秋末之夜 .....	(245)
祈祷 .....	(246)
病中得朋友赠杜鹃 .....	(248)
月白的夜 .....	(249)
再生 .....	(251)
夜榔 .....	(252)
问美丽的姑娘 .....	(253)
冬夜下 .....	(254)
灵魂底飞越一 .....	(255)



灵魂底飞越二 .....	(256)
西门外墓地 .....	(257)
将归故里 .....	(259)
呈母亲前 .....	(261)
万念俱消 .....	(262)
毁灭 .....	(263)
雨后 .....	(265)
生命上深刻的一痕 .....	(267)
若迦《夜歌》 .....	(269)
我又入梦 .....	(281)
风雨夜期待的火 .....	(283)
焚诗稿 .....	(285)
深夜钞诗寄妹妹 .....	(287)
记与雪夜话 .....	(289)
爱者底哭泣 .....	(291)
寻新生命去 .....	(293)
恋诗篇一 .....	(294)
春歌 .....	(296)
杂诗 .....	(297)
小诗六首 .....	(300)
杂诗 .....	(302)
晨光 .....	(303)
长途的倦客 .....	(304)
乞者 .....	(305)
将别——别修人之昨日 .....	(306)
别一个宇宙里 .....	(307)
夜梦 .....	(308)
罪徒 .....	(309)



## 目 录

泪 .....	(310)
诗一首 .....	(311)
立在街头吹箫的浪子 .....	(312)
晚上 .....	(313)
飘泊者 .....	(314)
七里泷的歌者 .....	(316)
将别 .....	(319)
长年的流离 .....	(321)
假使 .....	(322)
琴酒和江边 .....	(323)
夜底悲哀诗 .....	(324)
逃亡的弱者 .....	(326)
请你不要搅扰我 .....	(328)
无题 .....	(329)
夜下相思诗 .....	(330)
车站上 .....	(332)
湖畔底寂寞 .....	(334)
他们 .....	(335)
雨夜 .....	(336)
金华府南一个草湖内 .....	(337)
逝了 .....	(338)
湖上的夜 .....	(339)
毁灭 .....	(340)
将归故里 .....	(342)
我的泪灼耀着在 .....	(344)
虚无 .....	(345)
一段难堪的归程 .....	(347)
卖艺的女人 .....	(348)



一只麋鹿 .....	(350)
在北方雪光里 .....	(352)
归后 .....	(354)
志梦 .....	(355)
遗坟 .....	(356)



# 妹妹你是水

应修人 著





诗 歌

或者

篱旁的村狗不吠我，  
或者他认得我；  
提着筠篮儿的姑姑不回答我，  
或者伊不认得我。

——修人，一九二二，三，十二，晨



妹妹你是水

## 我认识了西湖了

从堤边，水面  
远近的杨柳掩映里，  
我认识了西湖了！  
——修人，西湖，一九二二，三，三十一





## 第一夜

(上)

哥哥底怀里，  
也有妈妈样的温暖吗？  
这是尝新的第一夜呵！

颊儿偎我，  
腕儿钩我，  
小调儿醉我，  
小哥哥并枕而睡地伴我。

要明天领我上栖霞岭去，  
让小哥哥睡熟吧。

小哥哥睡熟了，  
我倒不忍睡熟了。  
——这梦中的微笑，  
尽让灯光独自儿看，  
不是太罪过吗？

移他底脸儿，移得更近些；